

令和2年度 稲作情報第5号 (普通期水稻 病害虫防除)

令和2年7月31日
県北地域農振協専門部会作物部会

●病害虫の発生状況

今年は、ウンカ類やハマキ(コブノメイガ)が多数断続的に飛来しており、また降雨により防除ができなかったため、普通期でも一部でコブノメイガの被害を確認しています。なお、発生状況は「地域」や「圃場ごと」で異なっていますので、必ず圃場をよく観察し防除を行ってください。

【葉いもち・ウンカ類・紋枯病・コブノメイガを対象とする防除】

上記病害を確認したら、直ちに防除を実施して下さい。

ただし、**コブノメイガの防除は**、稲株を揺すり、最も成虫(ガ)が多く確認された時から7日後に防除を実施し、止め葉の被害防止に努めて下さい。

農薬名：ビームトレモンセレン粉剤DL 4kg/10a

(いもち病、紋枯病、ウンカ類、カメムシ類、コブノメイガ)

■秋ウンカ(トビイロウンカ)の発生に、嚴重注意を！！

今年は秋ウンカ(トビイロウンカ)の飛来が早く、また飛来量も多いため発生に注意が必要です。8月中旬頃から発生の増加が予想されるため、下記の薬剤で必ず防除を行ってください。

●時期と薬剤

[1回目]:穂ぞろい期(圃場全体の8~9割出穂時)の夕方に散布

ノンブラスバリダジョーカー粉剤DL 4kg/10a

(カメムシ、ウンカ類、コブノメイガ、穂いもち、紋枯病)

[2回目]:1回目の防除から7日後夕方に散布

トレボン粉剤DL 4kg/10a

(カメムシ、ウンカ類)

※特別栽培・地区指定米産地は専用暦に基づく管理をお願いします。

※農薬の使用に当たっては適正使用に努め、周辺への飛散等、周辺環境への影響がないように充分注意して下さい。